

村松地区村政懇談会

（主な懇談内容）

2025年8月4日

1 「部会活動の楽しいこと、大変なこと」

代表的な意見	村長コメント
<ul style="list-style-type: none">●楽しかったこと<ul style="list-style-type: none">・ 安全安心パトロール、広報紙編集などを通じた人との交流・ 地域ふれあいまつり、世代間交流、防災訓練（炊き出し等）・ 趣味的活動（そば打ちなど）●大変なこと<ul style="list-style-type: none">・ 部会体系が分かりにくい／負担が偏る・ 役員不足・高齢化、新規参加者の少なさ、同じ顔ぶればかり・ 行事のマンネリ化、予算難・ 子ども向け行事・活動の不足	<p>⇒村松地区は3自治会で6部会を回しており負担が大きい。</p> <p>⇒村松地区の特性は新住民が少ないこと。昔からのつながりが強い反面、人員の交代が難しい。無理せず部会の再編を考えた方がいい。</p> <p>⇒教育・福祉部会は他団体と連動しているため今後も残っていくだろう。他の部会は地区に合わせて、どこを残すか考えた方がいい。</p> <p>⇒自治会の事業も年間計画に基づいて動く。翌年度に向けて見直すなら秋頃には決定する必要があるだろう。</p> <p>⇒子どもが少ないことは課題。照沼小が小規模特任校になっていることを逆手にとって、地域と学校とで一体になり、子育て世代に選ばれる地域になってほしい。</p>

2 「地区自治会活動を振り返って、続けたい活動、これから始めたい活動」

代表的な意見	村長のコメント
<p>●続けたい活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ 世代間交流事業、地域ふれあまつり、三世代交流会・ まつりは統合して負担軽減を図る案と、特色を活かし複数維持する案・ 小学生の農業体験・ 防災訓練、防災体験・ 清掃活動、作品展示など地域とつながる行事 <p>●これから始めたい活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ 三地区対抗運動会、盆踊り・ 村松地区全体で行う防災訓練・ 集会所を活用した高齢者の居場所づくり、気軽に集まれる場の設置	<p>⇒世代間交流やまつりを優先的に残したいという考えであれば他を削って、事業の選択と集中が必要である。</p> <p>⇒防災訓練は必要。住民主体では負担になるので、コミセンを中心に実施できるようにしたい。宿題としてあずかる。</p> <p>⇒高齢者の居場所づくりは必要と考えている。集会所の使い方は各自治会にお任せする。</p>

3 村長とのフリートーク

代表的な意見	村長のコメント
<p>●避難所の扱い</p> <ul style="list-style-type: none">・ 災害の形態ごとに避難所が変わるのは分かりにくいのではないか。・ 照沼小学校の施設整備や長期滞在対応を検討できないか。・ 津波で村松コミセンが被災した上、長期避難が見込まれる場合はどこに避難すればよいのか。・ 避難計画は村内在勤者の避難も前提としているのか。・ 災害時に道路が寸断された場合、避難所は誰が開けるのか。	<p>⇒（部長回答）村松コミセンは低い位置にあるため、津波時の避難所は照沼小を指定。災害ごとに最適な避難所が異なるが、迷いのないように周知方法は検討する。</p> <p>⇒（部長回答）学校は教育機能を優先するため、基本的にはコミセンを避難所とする。</p> <p>⇒他の公共施設や民間ホテルを使うなど、段階的に決定する。避難者の生活環境を悪化させないよう努める。</p> <p>⇒基本的には村内在住者を想定。在勤者の避難は新たな課題。</p> <p>⇒物理的に不可能という状況でなければ、歩いてでも村職員が行って開ける。</p>

3 村長とのフリートーク

代表的な意見	村長のコメント
<ul style="list-style-type: none">●自治会加入率の低下<ul style="list-style-type: none">・若い世帯が自治会に入らず、高齢化で役員の担い手が不足。・加入促進のため、行政だけではなく各自治会でも考えなければいけない。村政懇談会などの場で議論したい。	<p>⇒全村的な課題。例えば自治会カードなどの優遇制度を導入しても、メリットだけ享受されて自治会活動に参加してもらえなければ意味がない。本来の自治会の意味を理解してもらう工夫が大切。行政窓口だけではなく、不動産業者等の協力も得ながらあきらめずに声かけを継続する。</p> <p>⇒各自治会でもアイデアがあればぜひ参考にしたい。</p>

A グループ(村松地区)

A

地区自治会の見直しについて

①部会活動の楽しいこと、大変なこと

地区自治会の組織は
明示されていないため
部会活動の全体が
わかりずい

安全安心部会に入っ
ているが、当初自分か
なむの部会に入っ
ているかわからなかった

部会には
負担が大きい
は(大変)

外から団体
イベントが多い
団体の負担

ふれあい地域お
りでの部会模擬
店(楽しい)

1人のひと
いろいろな役割
がかわる

役割が同じ人に
集中してしまう

地区社協
参加者が毎回

スタッフ・参加者の
固定化

11月ルール中に
世間行いかた

広報「ふれあい」を
作る事は楽しい
(企画・総会)

安全Pでコンビの方
との会話
(楽しい)

「ふれあい」の記事を
集めるのは少し大変
行事が無..と記事に
なさない

記事内容の
まとめ

安全・安心部会員の
高齢化が進み
新しい人が
加入してくれない

安全Pで嫌な
人とのコンビ
(大変)

②地区自治会活動を振り返って、続けたい活動や、これから始めたい活動

現在の2行事
(続けたい)

ふれあい地域まつり
世代交流
開

各単位自治会には
自主防災組織が
あるが、小学校単位で
防犯訓練があるが、
世代間交流の
防災講座を
訓練とは違う内容で

ふれあい地域まつり
世代間交流は
続けたい

現在の人的バ
ランซ์が
なり(始まる)

新しい事業は
とてもとても無理

ふれあい地域まつり
は、定数は大人数
があるが、続けた

ふれあい地域まつり
は、定数は大人数
があるが、続けた

現在の部会活動
(続けたい)

部会の改編を
したい

ふれあい地域まつり
は、定数は大人数
があるが、続けた

B グループ(村松地区)

地区自治会の見直しについて

①部会活動の楽しいこと、大変なこと

部会活動の
楽しいこと
大変なこと

楽しい
こと

単位自治会とは
別の人との出会い
人と人とのつながり

地域への愛着
人と人とのつながり

会合などこころを
あそばさる
→ 友達が増える

大変な
こと

行事への参加
者あつめ

役員の負担が
大きい

①一般会員として
地区自治会活動から
距離が遠い
→ 参加者が増えること

みんな活動と
関係ない

役員のなり手の
確保

①大変なこと
地区全体に会員募集して
来ようという
→ 年々「はかりで」
将来消費するかも

②部会予算が少なくて
会議室が狭い
→ 大変なこと

川根のボランティア活動する
のに人数が少ない
→ 参加者が増えること

いつも同じ
顔ぶれ

②地区自治会活動を振り返って、続けたい活動や、これから始めたい活動

地区自治会活動を振り返り
過去、続けたい活動や
これから始めたい活動

続けたい
活動

続けたい活動
ふれあい祭り

小学生の
農業体験

例年小学生と山崎
のふれあい
行事してきま
→ 続けたいこと

きめきめ
11月

防災訓練

2泊3日の
阪神・淡路
大震災を
避難訓練する
→ 避難訓練の
声かけ

女性役員
を増やす
女性活躍

始めたい
活動

今年から
行事として
新しい行事

ふれあい祭り
三世代交流
清掃活動

防災と三世代
交流と一泊の
行事

B

C グループ(村松地区)

地区自治会の見直しについて

Cグループ

①部会活動の楽しいこと、大変なこと

①

地域の人と
地域をよく
する事を話合える事

皆が楽しくレクリエーション
した事

参加者が思っていた
より多かった事

続けやすい形を
続けたい

おまつり

高齢化
新しい人が入会した

そば打ち

パトロール 仕事もしているので
参加難しい

子どもが遊べる
イベントが少ない
子ども会がない

②地区自治会活動を振り返って、続け たい活動や、これから始めたい活動

②

世代間活動に参加して
多岐達と学ばれた事

三世代交流も
地域祭り
高齢者の 集まり

盆踊り

イベントの統合

まつり
世代間活動

近所の人
集まる場所

集会所
定期的に 趣味

集まりたい
足がない